

# 安足地域麦類技術情報 No.1

令和4(2022)年10月18日  
安足農業振興事務所

## 重要ポイント

適期内に播種できるよう計画的に作業を進めましょう

### 1 今後の気象

気象庁の寒候期予報(9月20日発表)によると、播種後(12月～2月)の平均気温は、平年並または低いという予報が出されています。

播種後の気温が低い年では、播種が遅れてしまうと、低温のために出芽が遅れ、その後の生育も悪く、出穂や成熟が遅れて減収に繋がります。年内の生育量を十分に確保し、高品質麦の安定生産を図るため、適期内に播種できるよう計画的に作業を進めましょう。

表1 関東甲信地方 寒候期予報(12月～2月)

気温、降水量の各階級の確率(%)						
気温	関東甲信地方	冬12月～02月	<table border="1"><tr><td>40</td><td>40</td><td>20</td></tr></table>	40	40	20
40	40	20				
降水量	関東甲信地方	冬12月～02月	<table border="1"><tr><td>40</td><td>40</td><td>20</td></tr></table>	40	40	20
40	40	20				

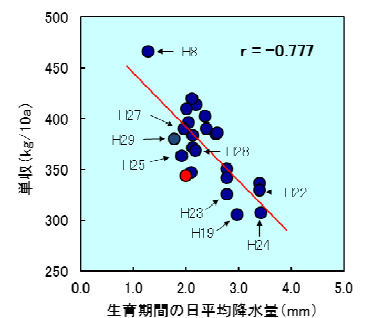
■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

### 2 今後の作業について

#### (1) 湿害対策

近年は短期間にまとまった雨が降ることが多く、麦の収量に影響を及ぼしています(右図)。

排水対策のポイントは、①額縁明きよの設置(地表水の早期排水)、②スタブルカルチ等による心土破碎(浸透排水性の改善)です。排水対策を必ず実施しましょう。



麦単収と降水量との関係  
(平成6年産～30年産。ただし、平成26年産は穂発芽被害のため除く)

## (2)土づくり

収量・品質の向上のため、深耕・有機物の投入を行いましょ  
う。土壌診断結果に基づき、計画的に土壌改良資材を施用しま  
しょう。

### 1) 深耕

作土の深さは 20cm 以上になるよう耕耘し、作土深を確  
保しましょう。

### 2) 有機物の施用

堆きゅう肥、稲わら等の有機物を施用しましょう。良質堆  
きゅう肥の施用は、地力の向上や通気性・保水性の改善、地  
温上昇の効果があります。

有機物の種類	施用量 (kg/10a)
牛ふん堆肥	1,000

※稲わら鋤込みした場合の注意点

分解促進のため石灰窒素 20kg/10a を施用しましょう。

### 3) 土壌改良資材の施用

麦類は一般的に酸性に弱く、土壌が酸性化すると生育が極  
端に悪くなります。播種前に苦土炭カル等のアルカリ資材を  
使って、pH6.5 を目標に矯正を行いましょ。特に水稲作付  
後のほ場では pH5.0~5.5 になっている場合があるため、必  
ず施用しましょ。

燐酸は根の発達や分けつの発生を促進します。土壌分析を  
行い、不足分を土壌改良資材で補いましょ。

土壌改良資材名	施用量 (kg/10a)
苦土炭カル	60~100
OM-37	80~100

## (3) 肥培管理

令和 4 年産のタンパク質含有率や生育状況、土性に応じて適  
正な基肥量を施用しましょ。

表 2 水稲後に作付けする場合の施肥量の目安 (kg/10a)

品種名	ニューサチホ ゴールデン	もち絹香	ビュー ファイバー	さとのそら
基肥窒素量	6.5~8.0	10.0 以上	7.0~9.8	10~11

○タンパク質含有率が低かった方(ビール大麦ではブルーカード、小麦ではタンパク質含有率 9.7%以下)

⇒緩効性肥料を含む肥料を使いましょう。

緩効性肥料を使用している方は基肥窒素量を 1～2kg/10a 増肥しましょう。

○タンパク質含有率が高かった方(レッドカード)や倒伏の発生が見られた方

⇒基肥窒素量を 1～2kg/10a 減肥しましょう。

○砂質のほ場や大豆作付後のほ場で麦類を作付けする方

⇒砂質のほ場では基肥窒素量を 1～2 割増肥、大豆作付後のほ場では 3～5 割程度減肥しましょう。

#### (4) 播種準備

##### 1) 播種時期

麦類の栽培においては、播種時期が収量に大きく作用します。遅播きすると、タンパク質含有率の増加や、収穫期の遅れによる品質の低下に繋がります。極端な早播きでは、整粒歩合の低下や被害粒の増加に繋がります。適期内に播種できるように計画的に作業を進めましょう。

##### 【安足地域の播種適期】

二条大麦：11月10日～11月25日

二条裸麦：11月10日～11月15日

小麦：11月10日～11月20日

##### 2) 播種量

耐倒伏性を高め、粒の充実を良くするため、標準量で播種しましょう。多すぎる播種量は経費の無駄になるばかりでなく、過繁茂、軟弱徒長の原因になり、倒伏の危険が増して減収や品質低下に繋がります。

表3 品種ごとの標準播種量(kg/10a)

品種名	ニューサチホ ゴールドデン	もち絹香	ビュー ファイバー	さとのそら
播種量	8.5	8.5	8～10	7～8

※播種が適期より 5 日遅れるごとに播種量を 10% 程度増量しましょう。

### 3 農業機械の省エネルギー対策

農業機械の利用にあたっては、定期的な点検により燃費の悪化を防ぐとともに、適切なエンジン回転数や作業速度等で作業することにより、省エネルギー対策に取り組むことができます。

トラクタ保守点検では、エアクリナー、エンジンオイル、エンジンオイルフィルター、潤滑油、タイヤの空気圧等を確認し、必要があれば整備しましょう。

トラクタ作業では、作業条件に応じた適切なエンジンの回転数、作業速度、PTO速度で作業することで、燃費が良くなります。

詳しくは、「農業機械の省エネ利用マニュアル-平成20年度数値化改訂版-、平成21年3月、農林水産省生産局編 社団法人日本農業機械化協会編」を参照してください。

【URL】

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/pdf/nouki\\_manual2.pdf](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/pdf/nouki_manual2.pdf)

※2022年10月13日閲覧

【QRコード】



燃油高騰等の影響により、生産コストが大きく増加しています。

定期的な保守点検の実施と効率的な作業により省エネ運転に努め、農業機械の長寿命化と燃料消費量を削減しましょう。



9月～11月は「秋の農作業安全確認運動」の実施期間です。

乗用型トラクターの事故が最も多く発生しています！以下のことを心がけましょう。



- 安全キャブ・フレームのある機種を利用し、シートベルトの着用徹底
- ほ場を出る際は昇降路手前で一旦停止し、ブレーキの連結ロックを確認
- 日没前の作業終了と、一般道走行に備えた反射材の装着、点検

問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0283-23-1431  
ホームページ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>